

**第 7 3 回 東 海 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会 水 泳 競 技  
兼 第 5 9 回 東 海 高 等 学 校 選 手 権 水 泳 競 技  
兼 第 9 4 回 日 本 高 等 学 校 選 手 権 水 泳 競 技 大 会 東 海 地 区 予 選 会**

**要 項**

1. 主 催 東海高等学校体育連盟  
愛知・静岡・岐阜・三重 各県教育委員会  
(一社) 東海水泳連盟
2. 後 援 (公財) 日本水泳連盟、(公財) 愛知県スポーツ協会
3. 主 管 愛知県高等学校体育連盟  
愛知県高等学校体育連盟水泳専門部  
(一社) 愛知水泳連盟
4. 協 賛 菅公学生服株式会社
5. 期 日 【競泳】 令和8年7月17日(金)・18日(土)・19日(日)  
【飛込】 令和8年7月19日(日)  
【水球】 令和8年7月11日(土)・12日(日)
6. 場 所 クロコくんアリーナ  
名古屋市南区東又エ町5丁目1番地の5 電話 052-614-6211
7. 競技方法 (公財) 日本水泳連盟競技規則による。  
競泳・飛込 男女別学校対抗  
水 球 予選トーナメント、決勝リーグ戦方式

## 8. 種 目

### (1) 競 泳

種 目	男 子					女 子				
自 由 形	50m	100m	200m	400m	1500m	50m	100m	200m	400m	800m
背 泳 ぎ	100m	200m				100m	200m			
平 泳 ぎ	100m	200m				100m	200m			
バ タ フ ラ イ	100m	200m				100m	200m			
個 人 メ ド レ ー	200m	400m				200m	400m			
フ リ ー リ レ ー	4×100m		4×200m			4×100m		4×200m		
メ ド レ ー リ レ ー	4×100m					4×100m				

#### 【競技方法】

- 1) 予選はタイムレースとし、決勝は各10名(10チーム)で行い、2名(チーム)の補欠とする。
- 2) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行うため、ただちにリゾリューションデスクに集合すること。但し、自由形800m・1500m・4×200mフリーリレーは抽選とする。リレー種目のスイムオフは予選競技と同じメンバーが同じ順番で泳ぐこと。
- 3) 競技は予選8レーン・決勝10レーンとする。  
予選において申し込みが32名を超えた場合はこの限りではない。

### (2) 飛 込

#### 男子

- ア) 3m飛板飛込 10演技種目  
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目  
自由選択飛 各群より5演技種目
- イ) 高 飛 込 9演技種目(6つの群より選択)  
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目  
自由選択飛 異群より5演技種目

#### 女子

- ア) 3m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目  
自由選択飛 異群より4演技種目
- イ) 高 飛 込 8演技種目(5つ以上の群より選択)  
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目  
自由選択飛 異群より4演技種目

#### 【競技方法】

- 決勝のみ行う。  
順位の設定は、決勝の得点合計によって行う。

【競泳・飛込競技順序】

競泳

第1日

1	女子	4×100m	メドレーリレー	予選
2	男子	4×100m	メドレーリレー	予選
3	女子	800m	自由形	予選
4	女子	50m	自由形	予選
5	男子	50m	自由形	予選
6	男子	1500m	自由形	予選
7	女子	4×100m	メドレーリレー	決勝
8	男子	4×100m	メドレーリレー	決勝

第2日 開始式

9	女子	4×100m	フリーリレー	予選
10	男子	4×100m	フリーリレー	予選
11	女子	200m	バタフライ	予選
12	男子	200m	バタフライ	予選
13	女子	200m	背泳ぎ	予選
14	男子	200m	背泳ぎ	予選
15	女子	400m	個人メドレー	予選
16	男子	400m	個人メドレー	予選
17	女子	200m	自由形	予選
18	男子	200m	自由形	予選
19	女子	200m	平泳ぎ	予選
20	男子	200m	平泳ぎ	予選
21	女子	50m	自由形	決勝
22	男子	50m	自由形	決勝
23	女子	800m	自由形	決勝
24	男子	1500m	自由形	決勝
25	女子	200m	バタフライ	決勝
26	男子	200m	バタフライ	決勝
27	女子	200m	背泳ぎ	決勝
28	男子	200m	背泳ぎ	決勝
29	女子	200m	自由形	決勝
30	男子	200m	自由形	決勝
31	女子	400m	個人メドレー	決勝
32	男子	400m	個人メドレー	決勝
33	女子	200m	平泳ぎ	決勝
34	男子	200m	平泳ぎ	決勝
35	女子	4×100m	フリーリレー	決勝
36	男子	4×100m	フリーリレー	決勝

第3日

37	女子	4×200m	フリーリレー	予選
38	男子	4×200m	フリーリレー	予選
39	女子	100m	平泳ぎ	予選
40	男子	100m	平泳ぎ	予選
41	女子	100m	バタフライ	予選
42	男子	100m	バタフライ	予選
43	女子	100m	自由形	予選
44	男子	100m	自由形	予選
45	女子	400m	自由形	予選
46	男子	400m	自由形	予選
47	女子	200m	個人メドレー	予選
48	男子	200m	個人メドレー	予選
49	女子	100m	背泳ぎ	予選
50	男子	100m	背泳ぎ	予選
51	女子	100m	平泳ぎ	決勝
52	男子	100m	平泳ぎ	決勝
53	女子	100m	バタフライ	決勝
54	男子	100m	バタフライ	決勝
55	女子	100m	自由形	決勝
56	男子	100m	自由形	決勝
57	女子	400m	自由形	決勝
58	男子	400m	自由形	決勝
59	女子	200m	個人メドレー	決勝
60	男子	200m	個人メドレー	決勝
61	女子	100m	背泳ぎ	決勝
62	男子	100m	背泳ぎ	決勝
63	女子	4×200m	フリーリレー	決勝
64	男子	4×200m	フリーリレー	決勝

閉会式

飛込み

男子・女子 高飛込 10:00

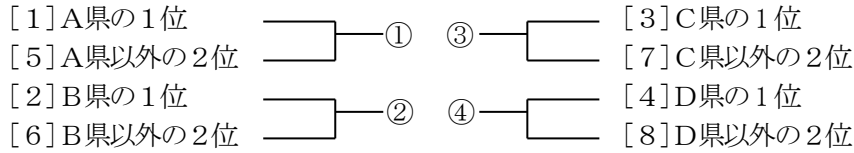
男子・女子 3m飛板飛込 14:00

飛込表彰式

(3) 水 球

【抽選方法】

予選トーナメント



決勝リーグ

- ⑤ ①の勝者 対 ②の勝者
- ⑥ ③の勝者 対 ④の勝者
- ⑦ ①の勝者 対 ④の勝者
- ⑧ ②の勝者 対 ③の勝者
- ⑨ ①の勝者 対 ③の勝者
- ⑩ ②の勝者 対 ④の勝者

- 1) [1]～[4]までを各県1チームにて抽選を行う。
- 2) [5]～[8]は、1の結果をみて同一県チームが同一ブロックとならないよう配慮して抽選を行う。
- 3) 前年度実績によるシードは行わない。
- 4) 敗者戦を設定する。(リーグ戦における連続出場を避けるため)
- 5) 競技時間は、全国高校総体に準ずる。
- 6) 参加チームが6チームないし7チームの場合は、いずれかの県の1位チームは、抽選により予選トーナメントは不戦勝とする。
- 7) 参加チームが5チーム以下の場合、総当たりリーグ戦とする。

【競技日程】

第1日

- ① 予選リーグ
- ② 〃
- ③ 〃
- ④ 〃
- ⑤ 決勝リーグ
- ⑥ 〃

第2日

- ⑦ 決勝リーグ
- ⑧ 〃
- 敗者戦 ①対②
- 敗者戦 ③対④
- ⑨ 決勝リーグ
- ⑩ 〃

9. 申込規定

(1) 資 格

- ① 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- ② 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し2026年度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した選手に限る。
- ③ 年齢は、平成19(2007)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学

年での出場は1回限りとする。

- ④ チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑤ 複数校合同チームの大会参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- ⑥ 転校・転籍後1年未満の者は、参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- ⑦ 上記①②に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
- ⑧ 競泳は、地方予選会（県大会）の成績で、各種目8位までの入賞者、および、9位以下であっても日本高等学校選手権大会の標準記録を突破した選手は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。ただし、決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。  
なお、男子1500m自由形・女子800m自由形については8位までの入賞者、および下記の標準記録を突破しなければ出場できない。  
標準記録 1500m自由形 19：15.00 800m自由形 10：30.00  
ア フリーリレーは個人種目出場者を含め6名（補員2名まで）を申し込むことができる。  
イ メドレーリレーは個人種目出場者を含め8名（補員4名まで）を申し込むことができる。  
ウ リレー種目において、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する選手に交代させることができる。（全国総体については、この限りではない）  
エ ランキング表及びプログラムの組合せは、県大会における、予選、決勝の良い方のタイムで作成する。
- ⑨ 飛込は、地方予選会（県大会）の成績で各種目8位まで、各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
- ⑩ 水球は、各県から2チームまで各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
- ⑪ 上記条件を満たした者で、学校長が出場を認めた選手。

## (2) 制限

- ① 競泳・飛込は1校1種目3名以内、1人2種目以内。（ただし、リレー種目を除く）
- ② 水球は1チーム監督1名＋引率責任者1名＋選手14名以内とする。

## (3) 申込方法（各様式は愛知県高体連ホームページにデータ・リンク先があります。）

<https://aichikenkoutairen.jp>

「東海総体特集」→「東海総体」→「競技別ページ」→「水泳」

様式① 「競技種目別参加選手一覧表」 各県別に男女各2通

様式② 「学校長出場認知書・学校別出場種目一覧」

学校別・男女別・種別（競泳・水球・飛込）に各1通

\*水球の合同チームについては【合同チーム用様式②】で申し込むこと。

様式③ 「宿泊申込書」（各学校で名鉄観光の所定の申込方法で申し込むこと。）

<https://aichikenkoutairen.jp/special-feature/73thtougaisoutai/>

様式④ 「県別・種目別参加選手数一覧」 各県に1通

様式⑤ 「県別 参加料・プログラム代金納入一覧表」 各県に1通

(注1) 様式①・④・⑤は各県専門部が作成し開催県に提出する。

(注2) 様式②・③は参加校が作成し、②は各県水泳専門部へ提出。③は申し込み方法に従い申し込む。

(注3) 様式②については男子用・女子用を使用し、水球の合同チームは合同チーム用を使用すること。

(注4) 飛込競技種目申込手続について

ダイブシートは所定のものを使用し必要事項を記入の上、当該競技開始時刻の24時間前までに提出すること。

また、当該競技提出時刻超過後であっても競技開始3時間前までに記録席本部に申し出ること  
で、審判長嚴重注意のもと受け付ける場合がある。なお、各日競技開始3時間30分前に競技会  
会場の開門時刻となっていない場合は、開門後30分間は同様の対応をする。

(4) 参加料

参加者1人につき2,000円を申込みと同時に納入のこと。水球は1チーム20,000円。  
(各県高体連で一括して納入)

(5) 申込期限と場所

令和8年7月3日(金) 午前10時(各県高体連委員長が代表し一括して申込み)  
クロコくんアリーナ会議室

10. 選手権校の決定

(1) 競 泳

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は、1位16点、2位14点……8位が2点とする。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。得点の最も多い学校を優勝校とし、総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① リレー種目による得点の多い学校
- ② 入賞者数の多い学校(但し、リレー種目は4と計算する)
- ③ 1位の数
- ④ 2位の数(以下8位までこれにならう)

(2) 飛 込

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、総合得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① 入賞者数の多い学校
- ② 1位の数
- ③ 2位の数(以下8位までこれにならう)
- ④ 当該入賞者の得点の平均点が多い選手のいる学校(平均点は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで算出する。)
- ⑤ 当該入賞者の得点の中で1種目の最も高い数値を得た選手のいる学校

(3) 水 球

優勝校（但し、リーグ戦で勝ち点が同じ場合は監督会議で決定された方法による）

1 1. 表 彰

- (1) 優勝校に優勝旗と賞状、8位まで賞状を与える。
- (2) 種目別優勝者に賞品と賞状、8位まで賞状を与える。

1 2. 宿 泊

別記要項による。

1 3. 日本高等学校選手権水泳競技大会への参加資格

本大会における以下の成績の選手またはチームは、高体連および加盟団体の推薦を得て全国大会に出場ができる。なお、全国大会への申込みは、東海高校総体に申込みをした選手に限る。(水球以外)

(1) 競 泳

- ① 各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。
- ② 予選、決勝、スイムオフを問わず全国大会標準記録を突破した選手、またはチーム。  
同タイムも含む。

(リレー競技の第1泳者および1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

【①、②の確認事項】

注1 都府県大会の記録で出場は認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、東海高校総体において予選・決勝・予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補員1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会のエントリータイムは、予選、決勝のうち速いタイムとする。

③ 各都府県特別措置

地域大会において全国大会の出場資格を得なかった各都府県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として高体連および加盟団体に推薦することができる。

また、出場資格は男女にまたがっていない場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1. 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200mおよび200m個人メドレー、50m自由形の種目で、地域大会において全国標準記録に最も近い記録をマークした者とする。

注2. 悪天候（雷・豪雨・暴風）や不測の事態によりレースを中断する場合がある。また、レース時間の繰上げやタイムレース決勝にする場合もある。レースを中止した場合は、各県総体予選の結果をもとに全国大会出場を認める。

○ 標準記録 (令和8年度)

種 目		男 子	女 子
自 由 形	50m	24.09	※ 26.99
〃	100m	※ 52.19	58.59
〃	200m	1:53.94	2:06.81
〃	400m	4:03.27	4:26.41
〃	800m	-----	9:11.13
〃	1500m	16:14.25	-----
背 泳 ぎ	100m	58.64	1:05.08
〃	200m	2:07.94	※ 2:19.96
平 泳 ぎ	100m	※ 1:04.28	1:12.84
〃	200m	※ 2:18.43	2:35.71
バ タ フ ラ イ	100m	※ 56.00	1:02.68
〃	200m	2:04.05	※ 2:17.66
個人メドレー	200m	※ 2:06.94	2:22.05
〃	400m	※ 4:32.98	5:02.11
フリーリレー	400m	3:35.47	4:02.26
〃	800m	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	400m	※ 3:56.47	4:26.16

(2) 飛 込

- ① 各種目の第1位の選手
- ② 標準点数を突破した選手 (同点も可)

○ 標準点数

種 目	男 子	女 子
飛板飛込 (3m)	10演技 293.00	9演技 256.00
高 飛 込	9演技 259.00	8演技 231.00

(3) 水 球

優勝校及び2位のチーム

(4) 全国大会特別出場措置を適用する場合は各県委員長に申し出る。

14. 開 始 式

- (1) 日 時 競泳 令和8年7月18日 (土) 午前10時
- 水球 令和8年7月11日 (土) 午前 9時
- 飛込 令和8年7月19日 (日) 午前 8時45分

- (2) 場 所 競泳・飛込・水球
- クロコくんアリーナ

- (3) 参加者 各県選手団（スタンドで起立して参加すること）  
（水球はプールサイドに整列して参加すること）

#### 15. 監督者会議

- (1) 日 時 競泳 令和8年7月17日（金）11時30分  
飛込 令和8年7月18日（土）15時00分  
水球 令和8年7月10日（金）16時00分

- (2) 場 所 競泳 クロコくんアリーナ  
飛込 クロコくんアリーナ  
水球 クロコくんアリーナ

#### 16. 大会期間中の本部

- 競技開催中 競泳・飛込・水球  
クロコくんアリーナ  
その他 各県水泳専門委員長へ連絡する。

#### 17. 申込記入上の注意事項

- (1) 楷書で記入し、押印する。  
(2) 様式②のプログラムに記載する学校名略字は下記の注意事項にならって記入する。

注1. 学校名は6文字以内に略して記入する。

- (例) 愛知産業大学三河高校 → 愛産大三河  
愛知みずほ大学瑞穂高校 → 愛み大瑞穂

注2. 学校名に地名がついている場合は、地名を略さないこと。

- (例) 浜北 → 浜松北 四高 → 四日市

注3. 高等学校の「高」の字は記入しない。

- (例) 関高 → 関 神戸高 → 神戸

注4. 大学付属の学校は「大」を略さない事。

- (例) 帝京可児 → 帝京大可児

- (3) 様式②の登録団体CDは、従来からの加盟団体番号の2桁と登録団体番号の3桁をつないだ5桁の番号を記入する。

#### 18. 救急処置・貴重品管理

競技中に選手が負傷した場合は、主催者側が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。  
貴重品の管理は各学校で行う事。更衣室は更衣のみとし、ロッカーの占有使用はできません。

## 19. その他

- (1) 大会期間中の競泳会場の開門は7月17日(金)8時30分、7月18日(土)、19日(日)7時30分とする。  
(飛込・水球競技・練習プール・控え室利用時間については後日連絡する)
- (2) プログラムは各学校へ監督1部、選手用1部を無料配布とする。それ以上必要な場合は、1部1,000円とする。  
【参加申込と同時に別紙により必要部数と現金を添えて申し込むこと。・・未定】
- (3) 令和7年度優勝校は、必ず優勝旗を持参すること。  
(本年度不参加の場合は、その該当する県で責任を持って返還すること)
- (4) 部旗は各校1枚とし、縦140cm、横210cm程度とする。掲示場所は後日ホームページを通じて連絡をする。
- (5) 各県・各学校の控え場所は指定とする(各県委員長の指示)。早朝からの並び、指定場所以外の場所取りはできません。ゴミ処理については、持ち帰りを原則とする。
- (6) 会場へのアクセスは各会場ホームページを参照のこと。
- (7) 社会情勢により、出場制限・競技運営・大会運営を変更する場合がある。